



「ありがとう」があふれる板四小

副校長 福田 真理

本年度4月より副校長として着任いたしました、福田真理と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。木々の緑が一層濃くなり、季節が夏へと向かっていることを感じる頃となりました。

先日は、土曜授業プランへのご参観および引き渡し訓練へのご協力をありがとうございました。感染拡大防止対策のため、時間や通路の指定などご不便をおかけした点多々あったかと思いますが、保護者の皆様のご理解と温かなご協力をいただき、充実した内容で実施することができました。心より御礼申し上げます。

さて、着任してからの約2ヶ月、たくさんの方々に支えていただきました。ある日のことです。担任へ連絡があり6年生の教室へ行きました。授業後の質問が続いている様子だったので廊下で待っていると、気付いた6年生が「先生、副校長先生が来ているよ」と声をかけてくれました。私の存在と思いを感じ取ってくれた、そのさりげない一言が頼もしく、とても嬉しい瞬間でした。「ありがとう」

また別の日、5年生の算数学習の様子を参観していた時のことです。自力解決の場面で一生懸命に考えているけれども納得のできる方法になかなかたどり着かなかった児童がいました。その後のペア学習の時に、隣の児童が悩んでいた部分についてわかりやすく説明すると、すらすらと解き始めました。そして、そのすぐ後の「ありがとう」自然に発せられたその言葉は、とても素敵で輝いていました。

素敵な場面は、まだまだあります。スマイル班活動の名刺交換で、1年生にわかりやすく説明をする6年生。「ありがとう」と言葉で伝えられる1年生。特に、6年生は行事が制限を受ける中、自分たちができることを考え、準備し、それを実行している様子が見られます。さすが、最高学年です。

2年生、3年生、4年生の児童は、廊下ですれ違うと、笑顔で気持ちのよい挨拶をしてくれます。着任当初の私にとって心強い存在でした。「ありがとう」

これからも板四小の素敵なおところをたくさん見つけ、保護者・地域の皆様と共に、児童の健やかな成長のために力を尽くしてまいります。

◆ 榛名移動教室（5年） ◆

5年生は、5月25日、26日に1泊2日で、初めての宿泊行事「榛名移動教室」へ行ってきました。1日目は、午前中に群馬県立自然史博物館で、生命の起源についての展示を興味深く見学し、午後はロープウェイで榛名山の景色を楽しみました。2日目は榛名湖畔を散策し、その後グリーン牧場で体験活動を行いました。

2日間とも天候に恵まれ、群馬県を自然を感じながら、今回のテーマであった「自分で考え行動する」ことや「友達と協力する」ことについて、存分に学習することができました。移動教室での成果をこれからの日常の生活に活かしていきたいと思っています。

(5年生担任)